

■桑名市 子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果速報版②

1 調査の概要

調査の種類	就学前の子どもの保護者調査	小学生の保護者調査	
調査対象者	住民基本台帳をもとに平成25年10月15日現在、就学前の子どもの保護者（全世帯）※	住民基本台帳をもとに平成25年10月15日現在、小学生の保護者（抽出）	
調査方法	郵送配布・回収	学校を通じて配布・回収（一部郵送）	
調査期間	平成25年11月8日～11月29日		
回収結果	配布数	6,255	2,000
	回収数	3,142	1,431
	回収率	50.2%	71.6%

※世帯に就学前の子どもの複数いる場合には、いずれか一人の子どもの状況等を調査

▽集計にあたって

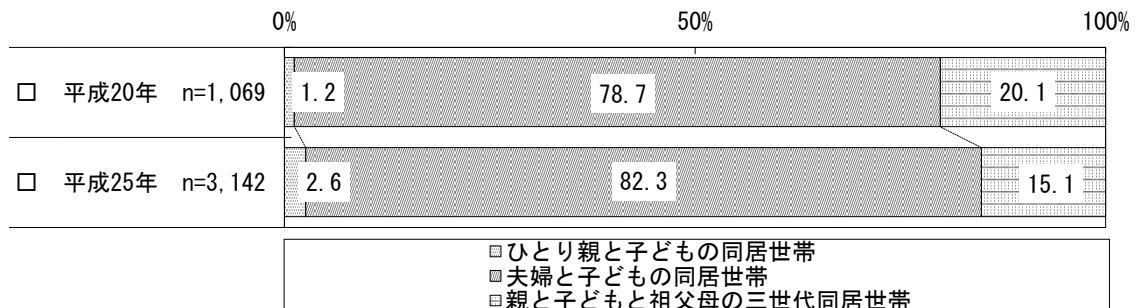
- ① 回答の比率は、その設問の回答数を基数（n）として算出しました。したがって、複数回答の設問については、すべての比率を合計すると100%を超えます。
- ② 回答率（%）は、小数点第2位以下を四捨五入しました。したがって、単数回答の場合であっても比率の合計が100%にならない場合があります。
- ③ 過去の類似調査結果と比較する際、「平成16年」「平成20年」とあるのは、それぞれ次世代育成支援行動計画の策定にあたって、平成16年と平成20年に実施した調査を指します。

2 平成20年の調査結果との比較

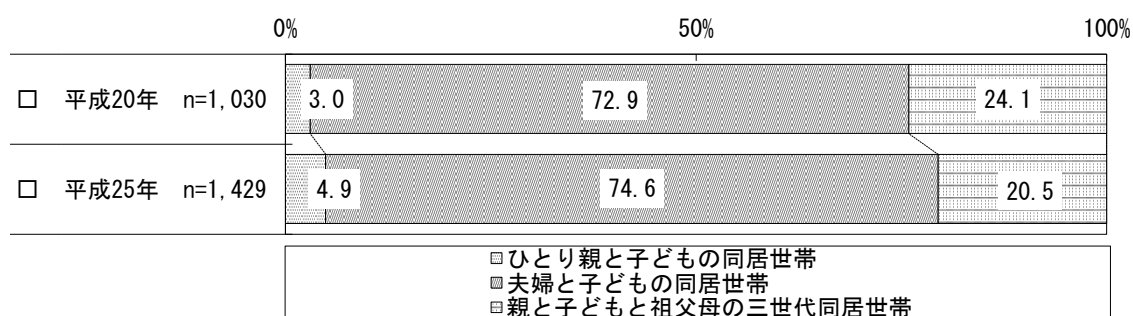
(1) 世帯構成

- ・平成20年の調査結果と比べ、夫婦と子どもの同居世帯およびひとり親と子どもの同居家族世帯が高く、親と子どもと祖父母の三世代同居世帯が低くなっています。

図表1 世帯構成（就学前の子どもの保護者調査）



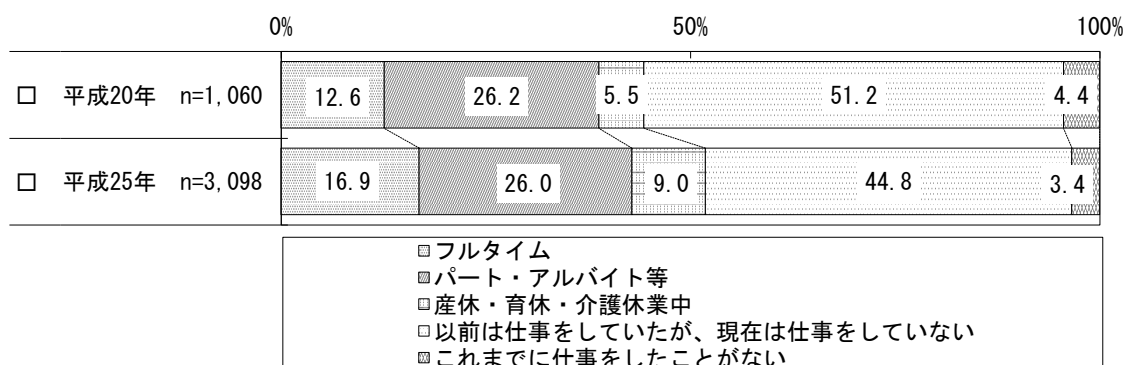
図表2 世帯構成（小学生の保護者調査）



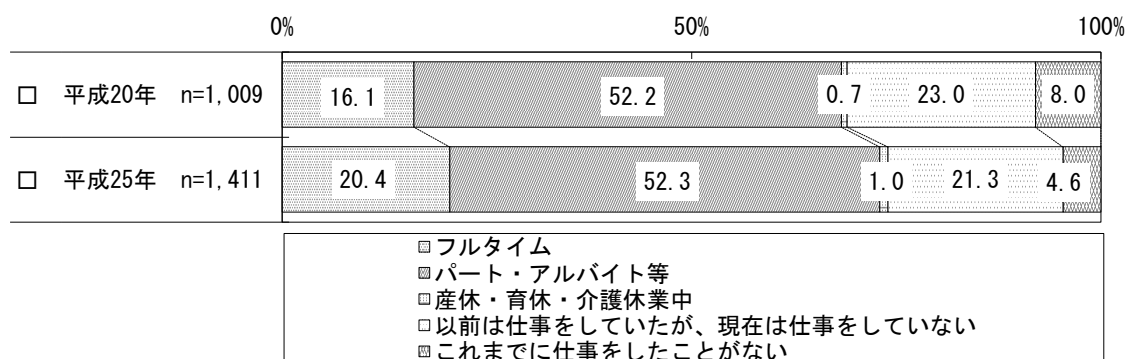
(2) 母親の就業状況

・平成20年の調査結果と比べ、「フルタイム」が高く、「仕事をしていない」人が低くなっています。また、「産休・育休・介護休業中」も高くなってきています。

図表3 母親の就労状況（就学前の子どもの保護者調査）



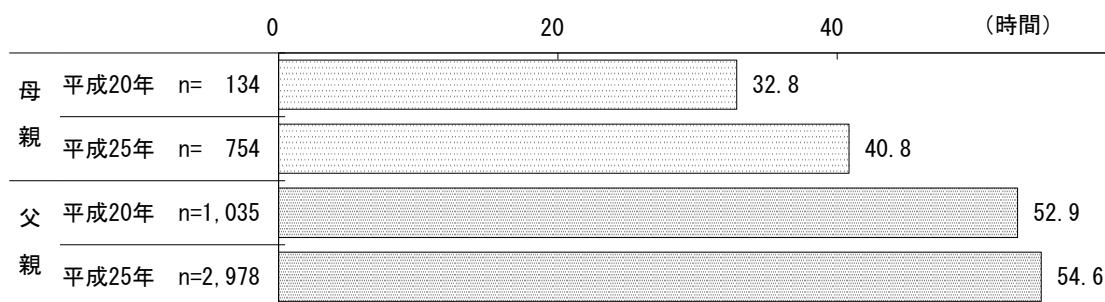
図表4 母親の就労状況（小学生の保護者調査）



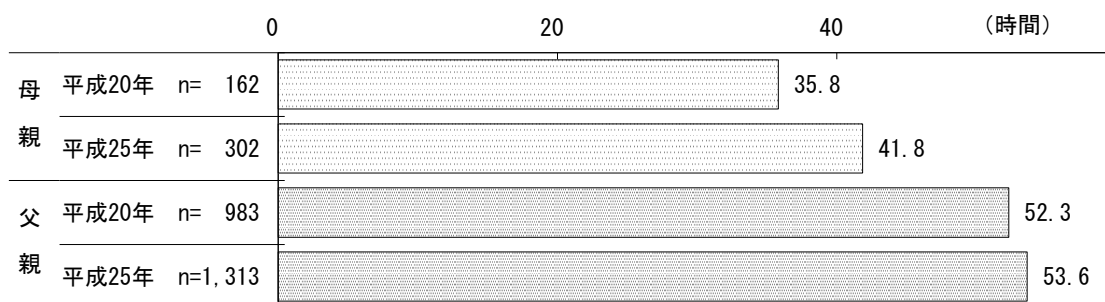
(3) フルタイムの人の就労時間

- ・平成20年の調査結果と比べ、母親も父親も就労時間（週）が長くなってきています。特に母親の長時間化が目立ちます。

図表5 フルタイムの就労時間（就学前の子どもの保護者調査）



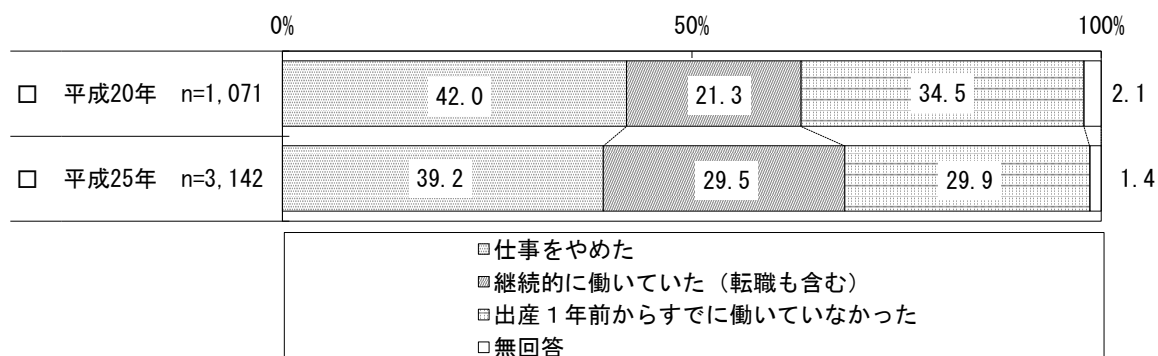
図表6 フルタイムの就労時間（小学生の保護者調査）



(4) 出産前後の就労状況

- ・平成20年の調査結果と比べ、「継続的に働いていた（転職も含む）」が8ポイント以上上昇しています。

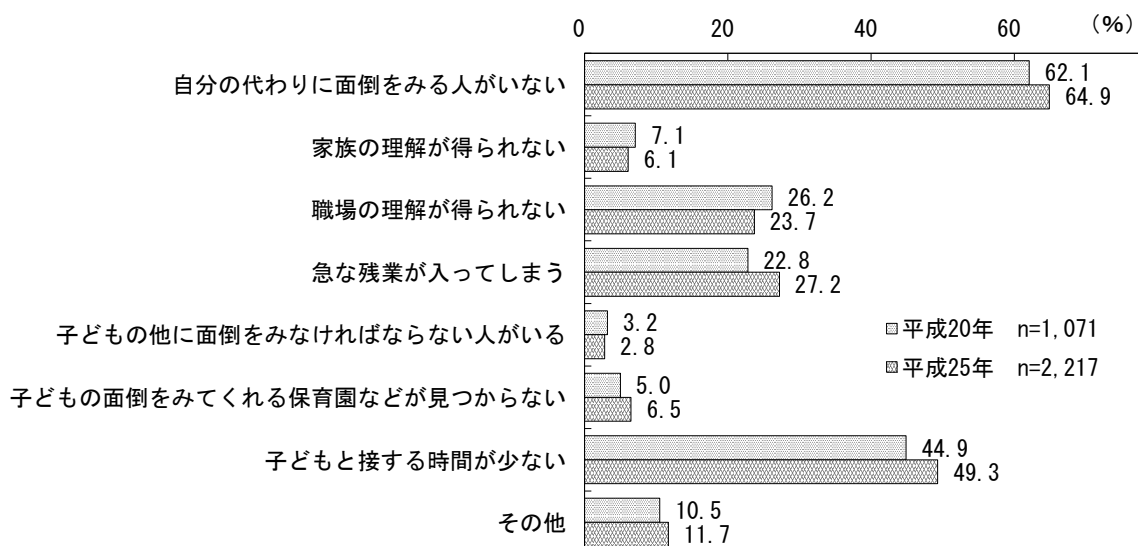
図表7 出産前後の就労状況（就学前の子どもの保護者調査）



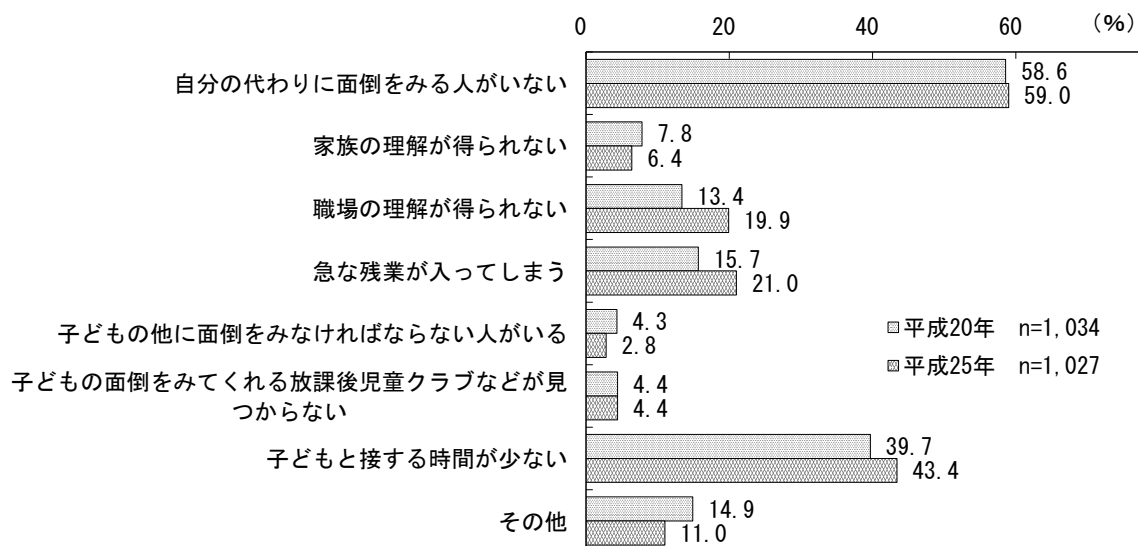
(5) 仕事と子育ての両立させる上で難しいと感じること

- ・平成20年の調査結果と比べ、「子どもと接する時間が少ない」および「急な残業が入ってしまう」が高くなっています。また、「職場の理解が得られない」は、就学前の子どもの保護者では低下しているのに対し、小学生の保護者では上昇しています。

図表8 仕事と子育ての両立させる上で難しいと感じること（就学前の子どもの保護者調査）



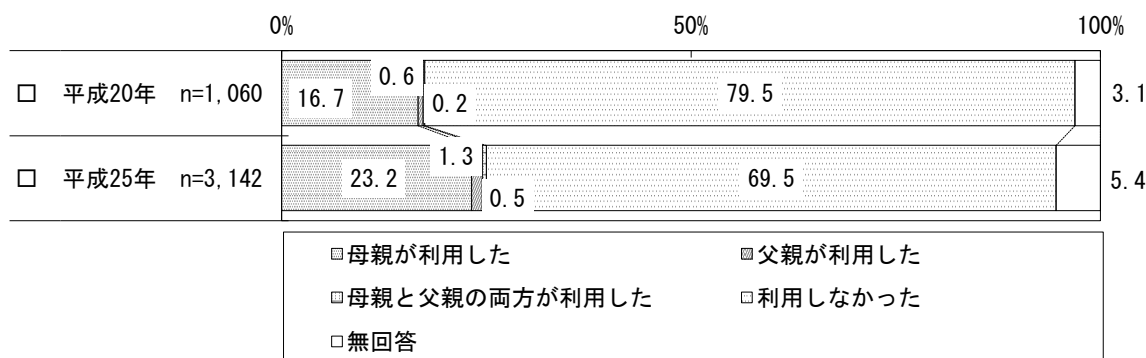
図表9 仕事と子育ての両立させる上で難しいと感じること（小学生の保護者調査）



(6) 育児休業の利用状況

- ・平成20年の調査結果と比べ、母親、父親ともに育児休業の利用が増えていることがわかります。

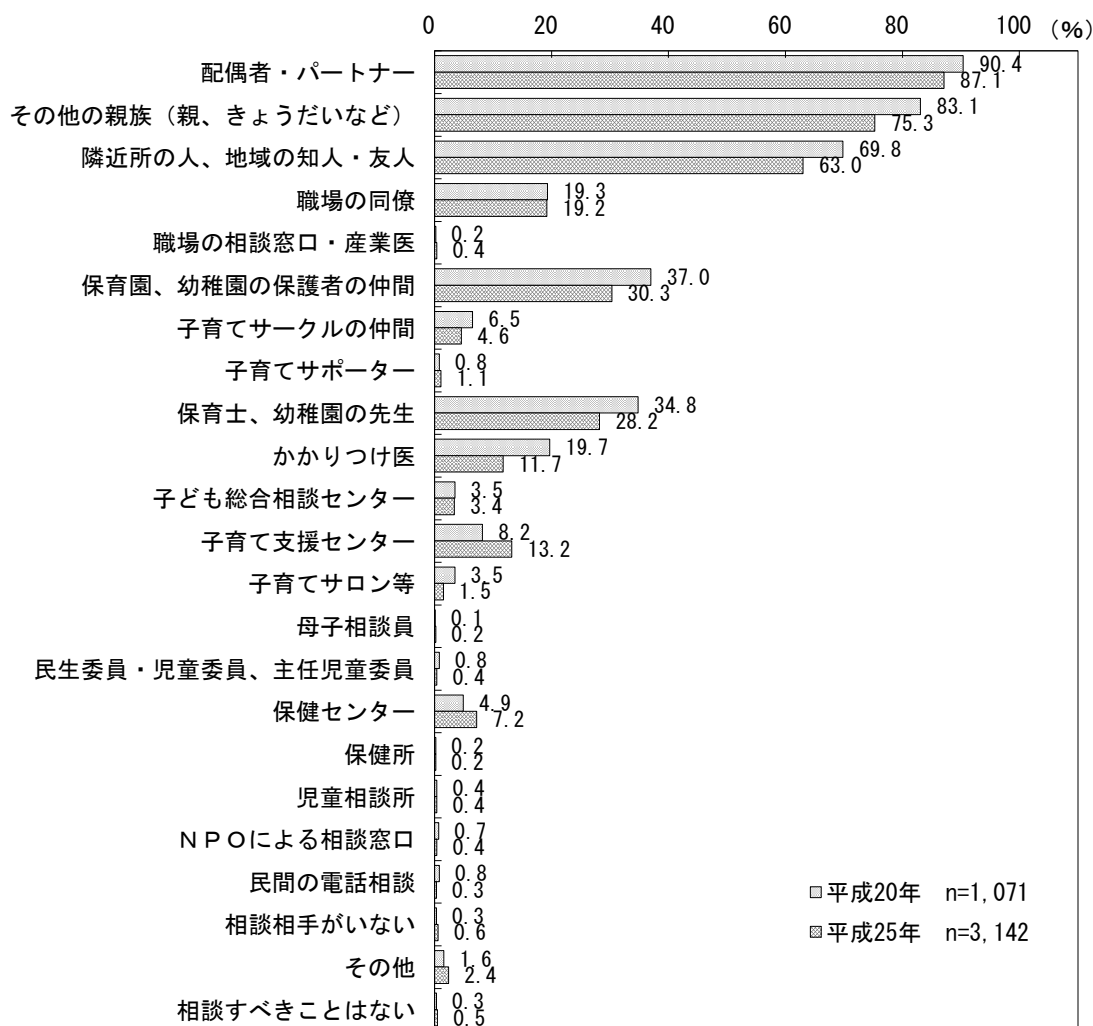
図表 10 育児休業の利用状況（就学前の子どもの保護者調査）



(7) 子育てに関する悩みや不安の相談相手

- ・平成20年の調査結果と比べ、身近な人が低下したのに対し、「子育て支援センター」が高くなっています。

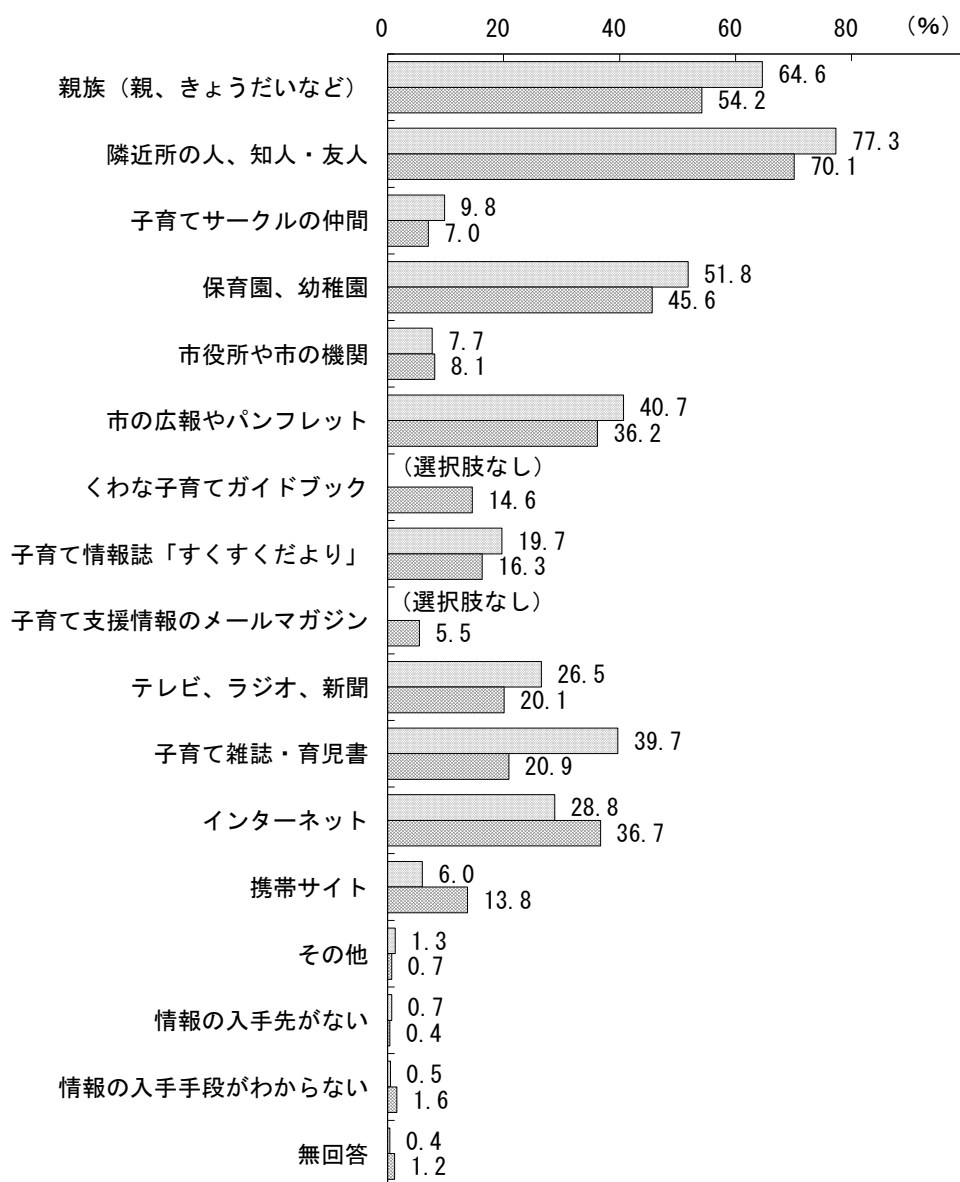
図表 11 子育てに関する悩みや不安の相談相手（就学前の子どもの保護者調査）



(8) 子育て情報の入手方法

- ・平成20年の調査結果と比べ、「隣近所の人、知人・友人」をはじめとする身近な人や「子育て雑誌・育児書」「テレビ、ラジオ、新聞」等が低下しているのに対し、「インターネット」や「携帯サイト」が高くなっています。

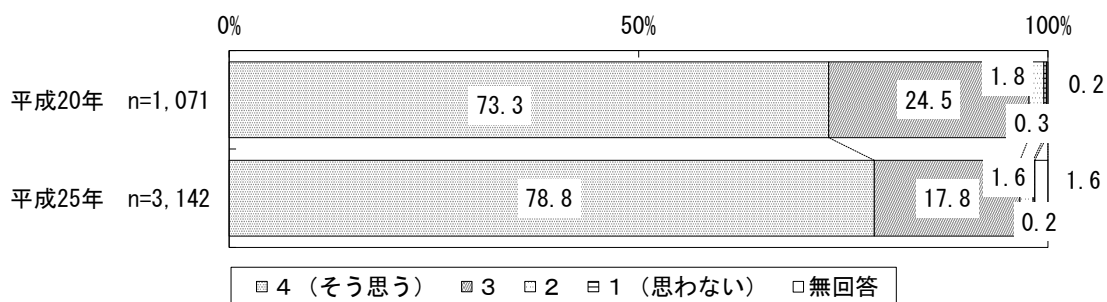
図表 12 子育て情報の入手方法（就学前の子どもの保護者調査）



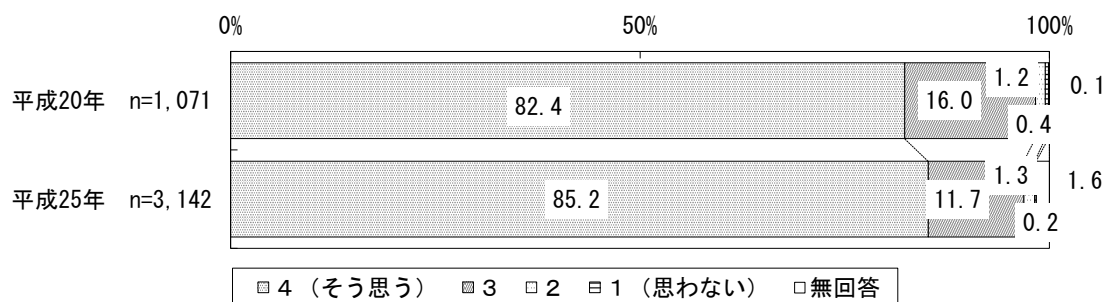
(9) 子育てについて感じていること

- ・平成20年の調査結果との比較では、子育て等のプラス面を表す①～③の項目は「思う（平成20年は「あてはまる」）」が高く、マイナス面を表す④～⑦の項目は「思わない（平成20年は「あてはまらない」）」が高くなっています。

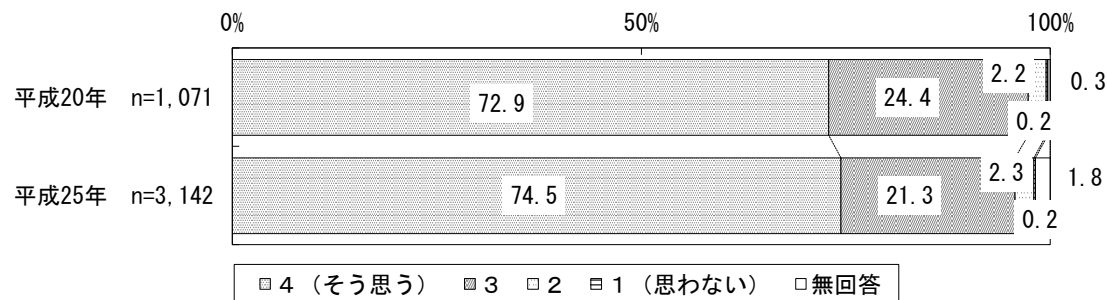
図表 13 ①子どもがいると生活が楽しく豊かになる（就学前の子どもの保護者調査）



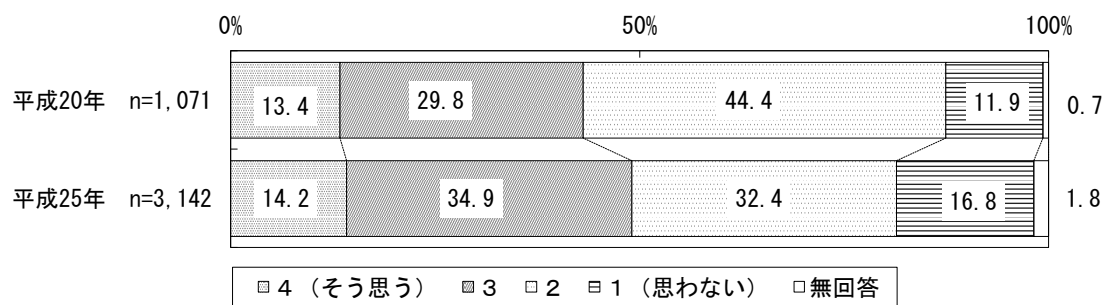
図表 14 ②子育てを通じて自分も成長すると思う（就学前の子どもの保護者調査）



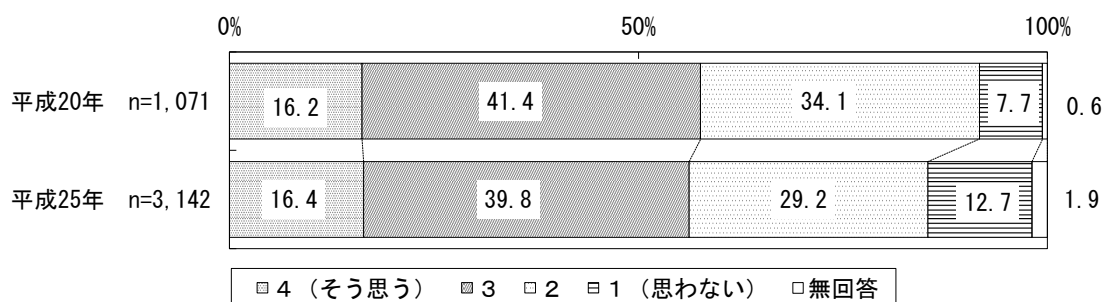
図表 15 ③子どもは心のやすらぎや生きがいを与えてくれると思う（就学前の子どもの保護者調査）



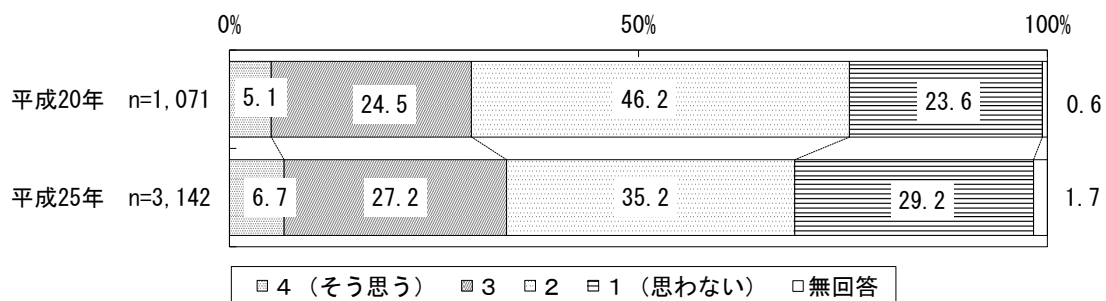
図表 16 ④子育てに対して不安を感じている（就学前の子どもの保護者調査）



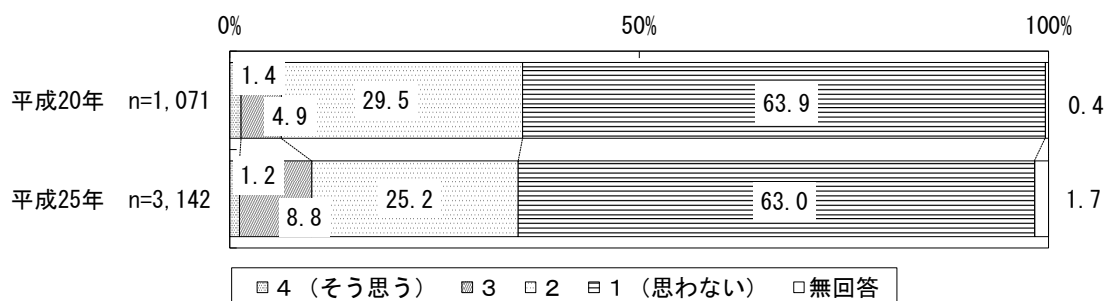
図表 17 ⑤仕事や自分のやりたいことができない（就学前の子どもの保護者調査）



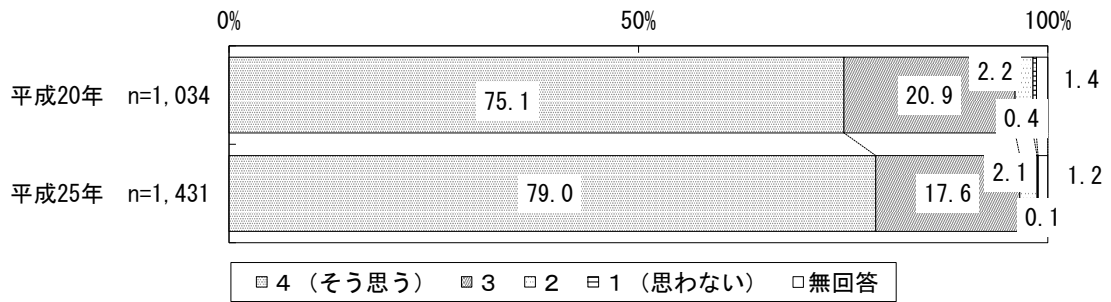
図表 18 ⑥子どもがいると生活や気持ちにゆとりがなくなる（就学前の子どもの保護者調査）



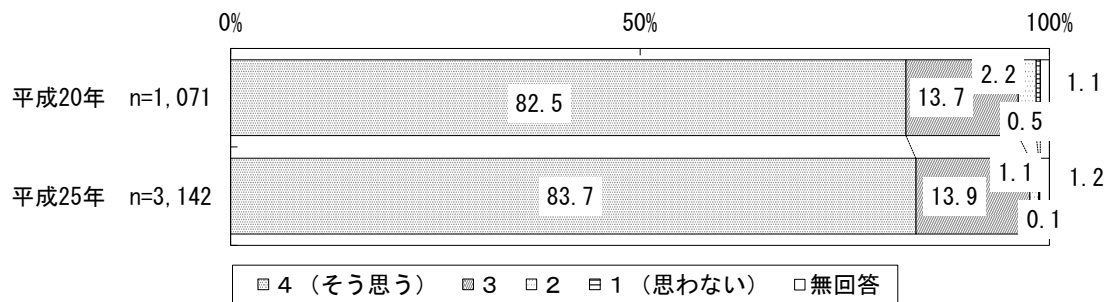
図表 19 ⑦子どもを虐待しているのではないと思う（就学前の子どもの保護者調査）



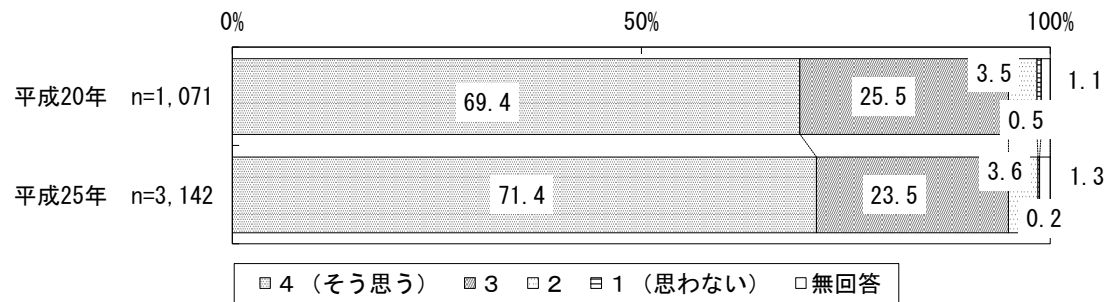
図表 20 ①子どもがいると生活が楽しく豊かになる（小学生の保護者調査）



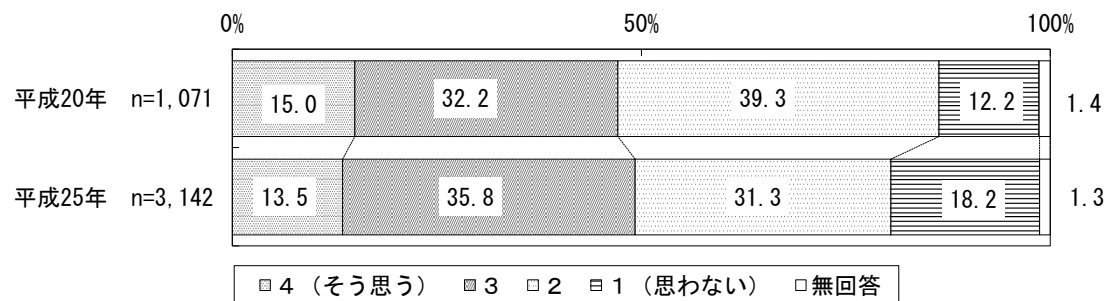
図表 21 ②子育てを通じて自分も成長すると思う（就学前の子どもの保護者調査）



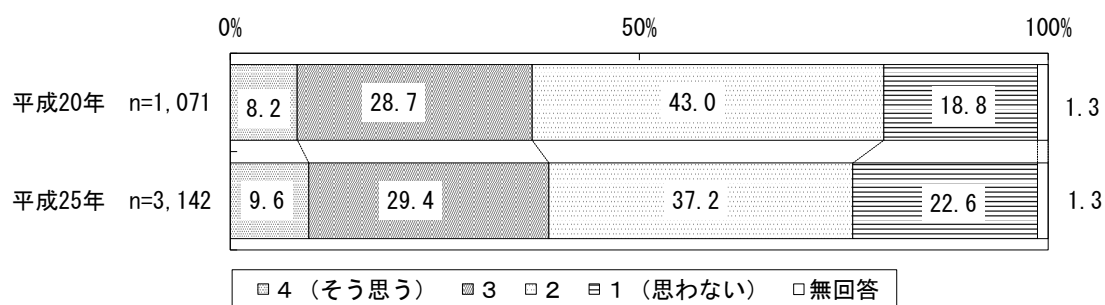
図表 22 ③子どもは心のやすらぎや生きがいを与えてくれると思う（小学生の保護者調査）



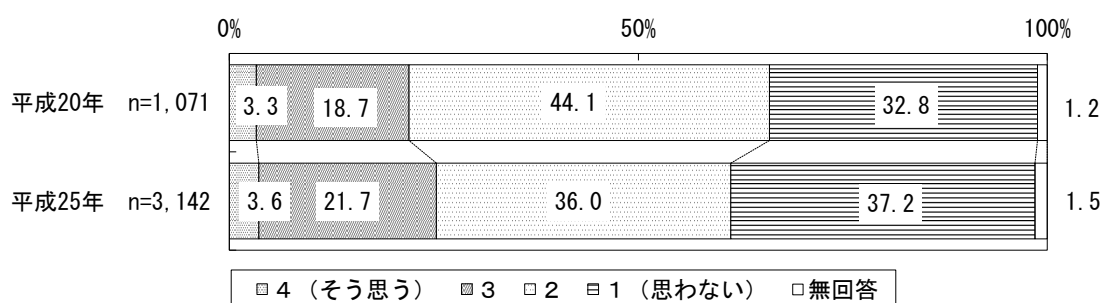
図表 23 ④子育てに対して不安を感じている（小学生の保護者調査）



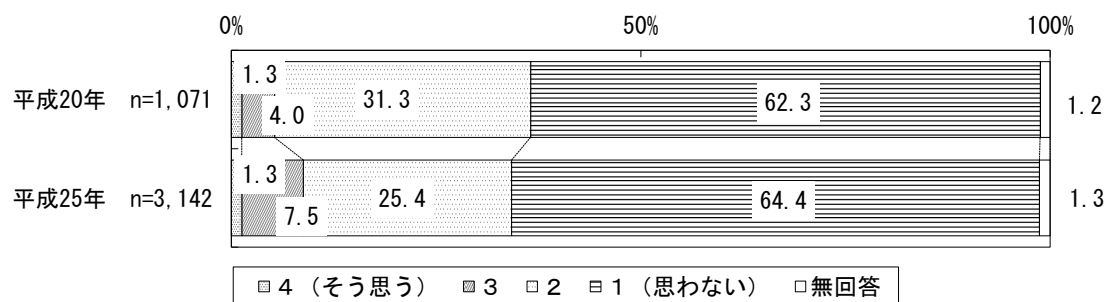
図表 24 ⑤仕事や自分のやりたいことができない（小学生の保護者調査）



図表 25 ⑥子どもがいると生活や気持ちにゆとりがなくなる（小学生の保護者調査）



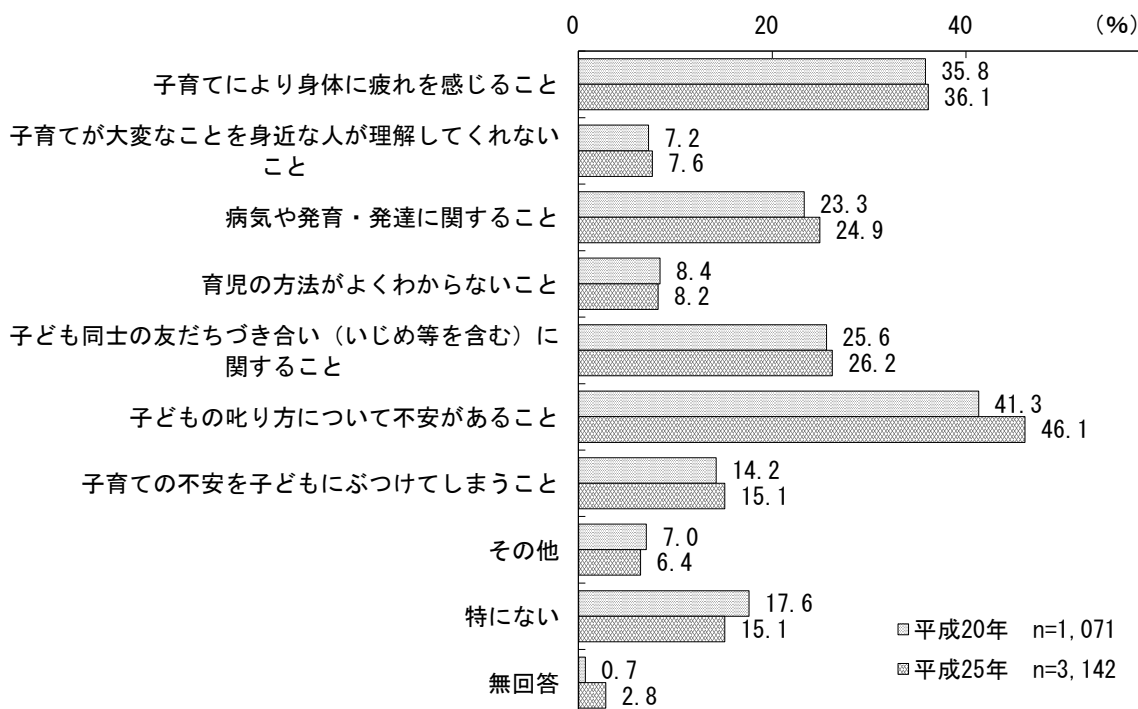
図表 26 ⑦子どもを虐待しているのではないかと思う（小学生の保護者調査）



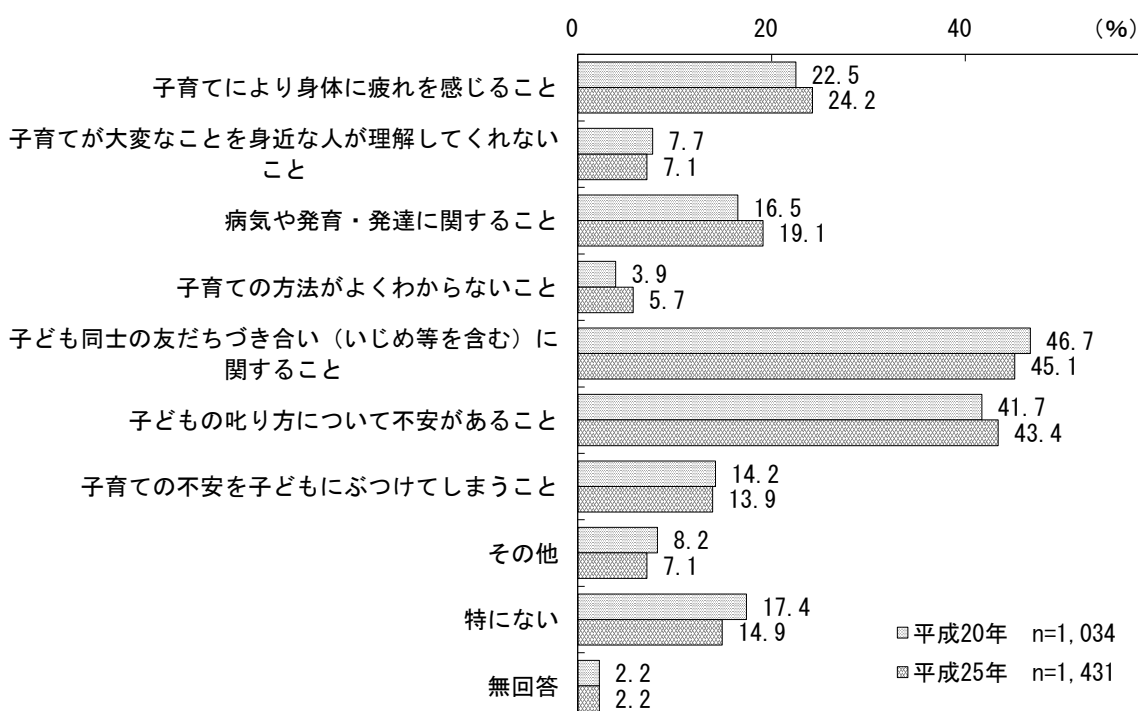
(10) 子育てについて不安に思っていること

- ・平成20年の調査結果と比べ、「特にない」が低下しているのに対し、「子どもの叱り方について不安があること（平成20年は「子どもを叱りすぎているような気がする」と）などが高くなっています。

図表 27 子育てについて不安に思っていること（就学前の子どもの保護者調査）



図表 28 子育てについて不安に思っていること（小学生の保護者調査）



3 世帯状況

(1) 国勢調査にみる家族類型

平成22年の国勢調査から、子どものいる世帯の家族類型をみると、親と子どもからなる核家族世帯は、18歳未満親族のいる世帯が78.9%、6歳未満親族のいる世帯が83.8%となっています。

本市の18歳未満親族のいるひとり親世帯は、母子世帯が551世帯、父子世帯が65世帯です。

図表 29 国勢調査にみる家族類型

区 分	一般世帯数	親族世帯		非親族世帯	単独世帯	再 掲		
		核家族世帯	その他の親族世帯			母子世帯	父子世帯	
桑名市	51,461	31,846	6,464	389	12,473	606	75	
	100.0%	61.9%	12.6%	0.8%	24.2%	1.2%	0.1%	
	18歳未満親族のいる世帯	14,268	11,253	2,933	62	20	551	65
		100.0%	78.9%	20.6%	0.4%	0.1%	3.9%	0.5%
	6歳未満親族のいる世帯	5,667	4,748	901	18	0	114	4
100.0%		83.8%	15.9%	0.3%	0.0%	2.0%	0.1%	
三重県	703,237	412,615	94,867	6095	189,123	9578	1333	
	100.0%	58.7%	13.5%	0.9%	26.9%	1.4%	0.2%	
	18歳未満親族のいる世帯	178,676	136,409	40,950	1020	297	8856	1197
		100.0%	76.3%	22.9%	0.6%	0.2%	5.0%	0.7%
	6歳未満親族のいる世帯	71,487	57,858	13,247	382	0	1698	124
100.0%		80.9%	18.5%	0.5%	0.0%	2.4%	0.2%	
全国	51,842,307	29,206,899	5,308,648	456,455	16,784,507	755,972	88,689	
	100.0%	56.3%	10.2%	0.9%	32.4%	1.5%	0.2%	
	18歳未満親族のいる世帯	11,989,891	9,580,605	2,321,456	47,486	40,344	700,565	77,445
		100.0%	79.9%	19.4%	0.4%	0.3%	5.8%	0.6%
	6歳未満親族のいる世帯	4,877,321	4,082,266	778,694	16,315	46	136,412	7,472
100.0%		83.7%	16.0%	0.3%	0.0%	2.8%	0.2%	

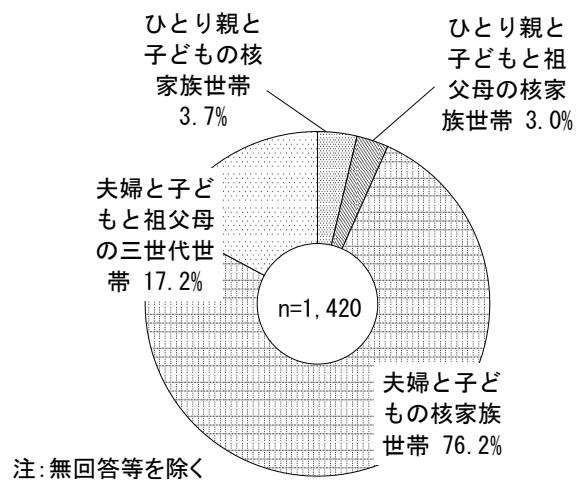
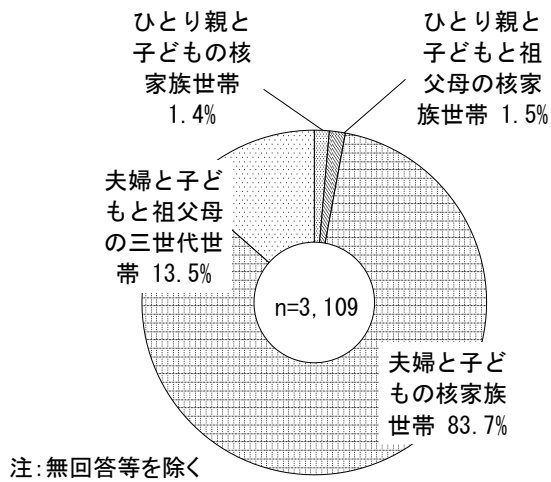
資料：国勢調査（平成22年）

(2) ニーズ調査における世帯状況

ニーズに調査における世帯状況をみると、夫婦と子どもの核家族世帯が、就学前の子どもの保護者では83.7%、小学生の保護者では76.2%を占めています。ひとり親と子どもの核家族世帯は、就学前の子どもの保護者では1.4%、小学生の保護者では3.7%、ひとり親と子どもと祖父母の核家族世帯は、就学前の子どもの保護者では1.5%、小学生の保護者では3.0%、ひとり親と子どもと祖父母の三世帯世帯は、就学前の子どもの保護者では13.5%、小学生の保護者では17.2%となっています。

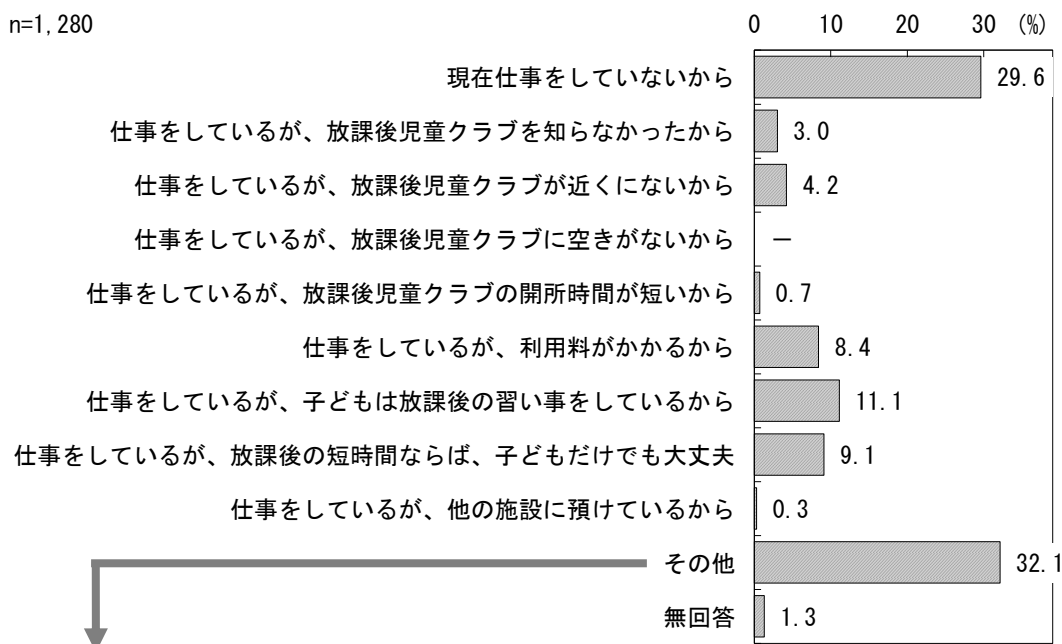
図表 30 世帯状況（就学前の子どもの保護者調査）

図表 31 世帯状況（小学生の保護者調査）



4 放課後児童クラブを利用していない理由

図表 32 放課後児童クラブを利用していない理由（小学生の保護者調査）



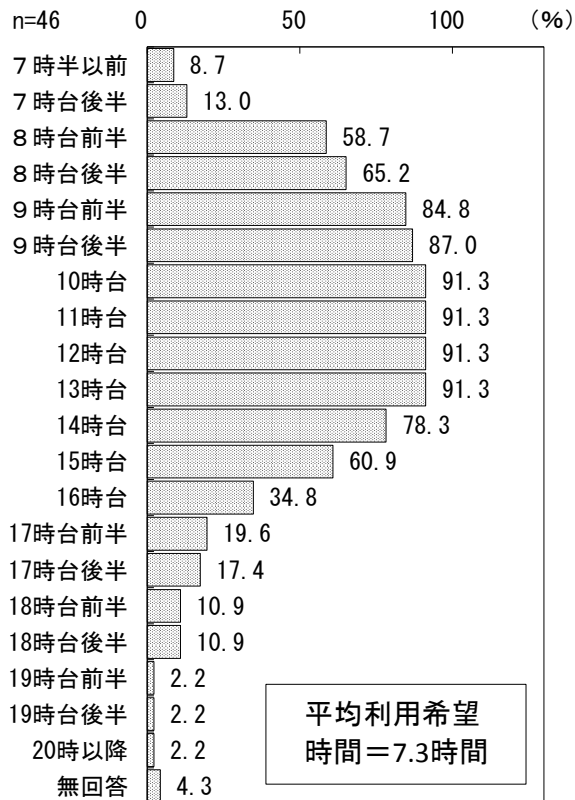
● 「その他」の具体的な記述

- ・ 仕事をしているが、子どもの帰宅時間には家にいる（154人）
- ・ 祖父母がいる（59人）
- ・ 自営のため（10人）
- ・ 子どもが行きたがらない（7人）
- ・ 児童クラブ運営に親の負担が多いから（6人）
- ・ 祖父母の家で過ごす（5人）
- ・ 子ども同士で遊びたいと言う（4人）
- ・ 利用料が高い（4人）
- ・ 親の役割が負担（4人）
- ・ 障がい児のため（2人）
- ・ 児童デイサービスを利用している
- ・ 人気のないところにあり、通わせるのが不安（2人）
- ・ 安全ではないから
- ・ 学校区に児童クラブがないから
- ・ 預けていたが、子どもの体調不良をわかってもらえず信用できなくなった
- ・ 近くに児童センターがあるから
- ・ 魅力がない
- ・ 好きにさせたい
- ・ 同級生が少なくなった
- ・ 好きにさせたい
- ・ 18時まで学校で預かってもらえる（私立）
- ・ 4年以上は受け入れないと聞いている
- ・ 必要ない（7人）

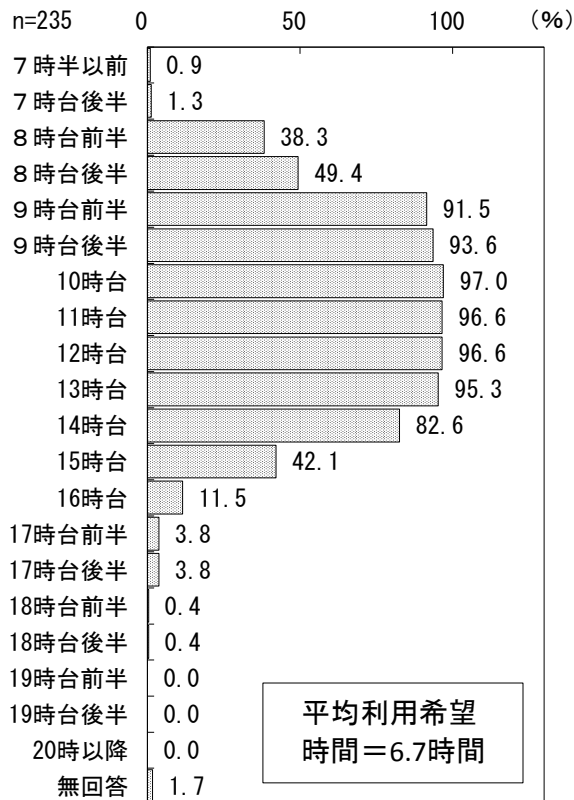
5 平日の教育・保育事業の利用希望時間（母親の就労状況別）

(1) 幼稚園

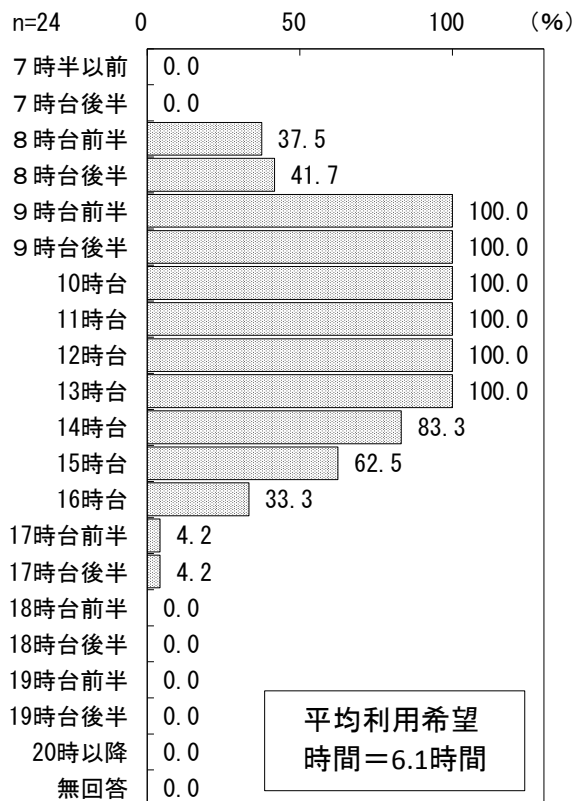
図表 33 フルタイムの人の利用希望時間



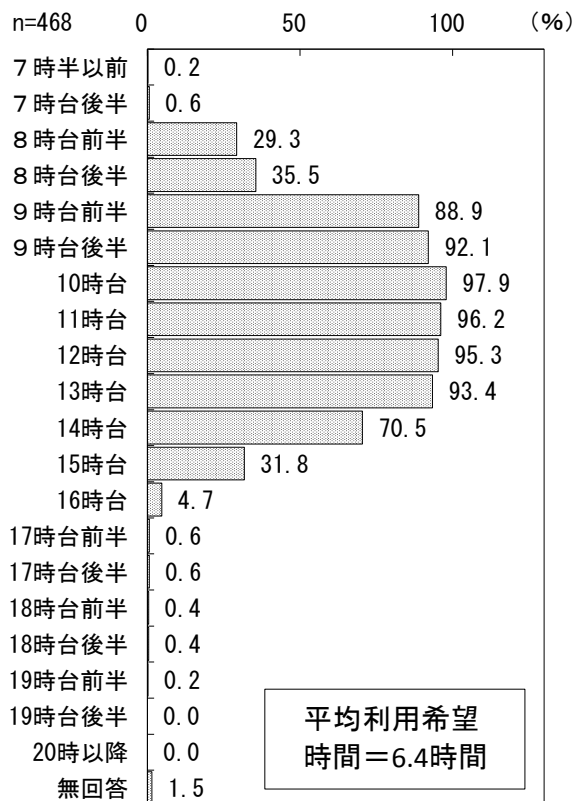
図表 34 パート・アルバイト等の人の利用希望時間



図表 35 休業中の人利用希望時間

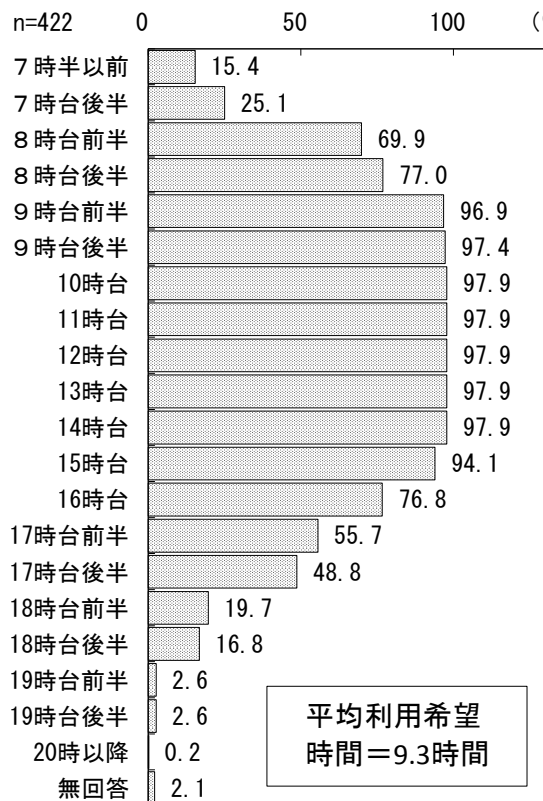


図表 36 未就労の人利用希望時間

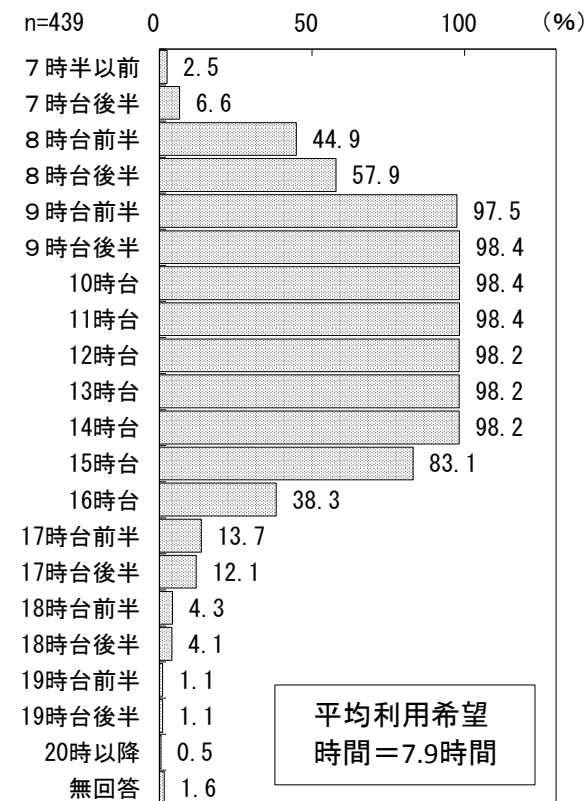


(2) 保育園

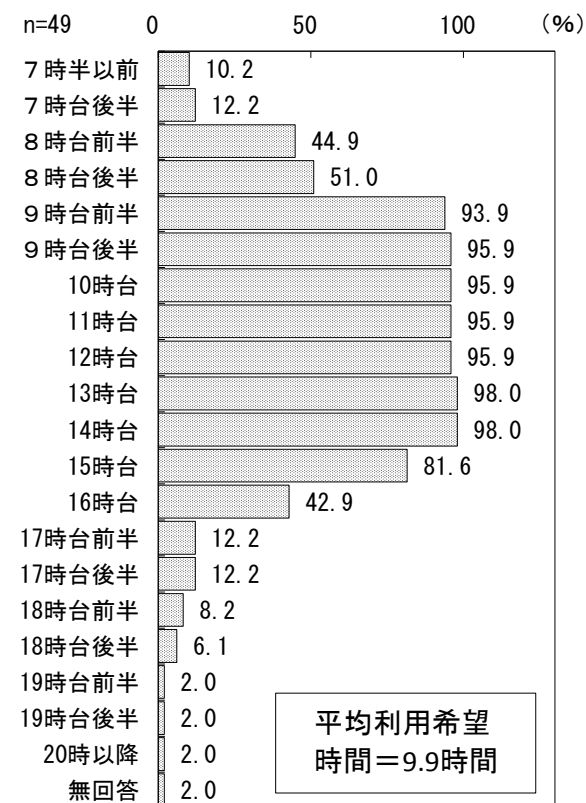
図表 37 フルタイムの人の利用希望時間



図表 38 パート・アルバイト等の人の利用希望時間



図表 39 休業中の人利用希望時間



図表 40 未就労の人利用希望時間

